

ピアッシング同意書

ピアッシングとは、体の一部に装飾品などを装着するための孔をあけることをいいます。

耳たぶの場合、ピアスガンあるいはピアッサーを用いて、麻酔なしで行います。その他の部位(ボディピアス)は、局所麻酔をして行います。

耳たぶ用のピアスと耳の軟骨用のピアスは当院で用意しておりますが、その他のボディピアスは御持参下さい。

ピアッシングしてから、ピアスホールが形成されるまで約 6 週間(ボディピアスの場合は約 8 週間)かかります。その間、ピアスは外さないようにして下さい。

1 日 2 回、ピアスの軸をずらしながら水または湯で洗い、お渡しした軟膏を塗って下さい。

ピアスホールが完全に落ち着くまで、1 年くらいかかります。その間は、ピアスをしない状態が続くとふさがってしまうことがありますので、注意して下さい。また、ピアッシングに使用したファーストピアスも捨てずに、時々使うようにして下さい。

合併症

感染・・・化膿することです。赤く腫れ、膿がでることもあります。

アレルギー・・・ピアスの金属が体に合わない場合です。赤く腫れますが、膿は出ません。

感染やアレルギーを起こした場合、ピアスを外さなくてはならないことがあり、その場合はピアスの孔はふさがってしまいます。

また、もともと金属アレルギーがなくても、ピアッシングをすることによってアレルギーを発症してしまうことがあります。(チタンや樹脂はアレルギーを起こしません)

ケロイド・・・ピアス孔のまわりが赤くふくらみ、硬くなります。注射で抑えたり、手術で切除したりする必要があります。

表皮嚢腫・・・ピアス孔の皮膚が皮下にもぐりこみ、袋を形成した状態をいいます。袋ごと切除する手術が必要となる場合があります。

耳垂裂など・・・ピアスを引っ掛けてしまうなどにより、ピアス孔がちぎれてしまうことがあります。耳の場合は耳垂裂といえます。修正のための手術が必要となる場合がありますので、ピアスを引っ掛けないよう気をつけて下さい。

上記のピアスによる合併症については、保険診療で対応させていただきますので、治療の際は保険証をお持ち下さい。

上記について説明を受け、納得理解した上で施術を受けることに同意いたします。

年 月 日

本人 住所

氏名

保証人 氏名